



着信側トランスフォーメーションパターンの設定

着信側トランスフォーメーションパターンを設定するには、次のトピックを参照してください。

- 「[着信側トランスフォーメーションパターンの設定値](#)」 (P.48-1)
- 「[関連項目](#)」 (P.48-5)

着信側トランスフォーメーションパターンの設定値

Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、[コールルーティング (Call Routing)] > [トランスフォーメーションパターン (Transformation Pattern)] > [着信側トランスフォーメーションパターン (Called Party Transformation Pattern)] メニューパスを使用して、着信側トランスフォーメーションパターンを設定します。

[着信側トランスフォーメーションパターン (Called Party Transformation Pattern)] ウィンドウのパラメータは、宛先デバイスの着信側変換コーリング検索スペースを使用して、適切な発信者情報を提供します。トランスフォーメーションパターンを使用するコールはルーティングできないことに注意してください。このパターンと一致した場合、コールはデバイスにルーティングされません。



(注)

ローカルルートグループ機能が設定されている場合の着信側トランスフォーメーションパターンおよびその使用方法と設定については、『*Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービスガイド*』の「[ローカルルートグループ](#)」の章を参照してください。

GUI の使用方法

Cisco Unified Communications Manager の管理の Graphical User Interface (GUI; グラフィカルユーザインターフェイス) を使用してレコードを検索、削除、設定、またはコピーする方法については、「[Cisco Unified Communications Manager の管理アプリケーションでの操作](#)」 (P.1-13) およびそのサブセクションを参照してください。GUI の使用方法とボタンおよびアイコンの機能の詳細が説明されています。

設定値表

表 48-1 では、着信側トランスフォーメーションパターンの設定値について説明します。関連する手順については、「関連項目」(P.48-5) を参照してください。

表 48-1 着信側トランスフォーメーションパターンの設定値

フィールド	説明
[パターン定義 (Pattern Definition)]	
[パターン (Pattern)]	<p>数字とワイルドカード (スペースを使用しない) を含むトランスフォーメーションパターンを入力します。たとえば、North American Numbering Plan (NANP) では、通常のローカル アクセスの場合は 9.@ を、通常のプライベート ネットワーク 番号計画の場合は 8XXX を入力します。大文字の A、B、C、D、および ¥+ を指定できます。¥+ は、国際的なエスケープ文字 + を表します。</p> <p>(注) パターンが固有のものであることを確認してください。重複エントリを示すエラーが表示された場合は、トランスフォーメーションパターン、ルートパターン、トランスレーションパターン、電話番号、コールパーク番号、コールピックアップ番号、メッセージ受信のオン/オフ、またはミーティング番号をチェックしてください。また、必要に応じてルートプランレポートもチェックしてください。</p> <p>ワイルドカードの詳細については、『Cisco Unified Communications Manager システムガイド』の「ルートパターンとハントパイロット内のワイルドカードと特殊文字」を参照してください。</p>
[パーティション (Partition)]	<p>パーティションを使用してトランスフォーメーションパターンへのアクセスを制限する場合は、ドロップダウンリストボックスから適切なパーティションを選択します。トランスフォーメーションパターンへのアクセスを制限しない場合は、パーティションの代わりに [<なし (None)>] を選択します。パーティションの使用方法の詳細については、「パーティションの設定」(P.40-1) を参照してください。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示するパーティションの数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのパーティションが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[パーティションの検索と一覧表示 (Find and List Partitions)] ウィンドウを表示します。「パーティションの検索 (パーティションが多数ある場合)」(P.40-4) の手順に従って、パーティション名を検索し、選択します。</p> <p>(注) トランスフォーメーションパターンは、ルートパターンや電話番号などのダイヤルパターンとは別の非ヌルパーティションに設定してください。トランスフォーメーションパターンを検索するとき、ヌルパーティションのパターンは無視されます。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin パラメータ (CCMAdmin Parameters)] を選択します。</p> <p>(注) パターン、ルートフィルタ、およびパーティションの組み合わせが、Cisco Unified Communications Manager クラスタ内で固有であることを確認してください。</p>
[説明 (Description)]	トランスフォーメーションパターンの説明を入力します。説明には、任意の言語で最大 50 文字を指定できますが、二重引用符 (")、パーセント記号 (%)、アンパサンド (&)、または山カッコ (<>) は使用できません。

表 48-1 着信側トランスフォーメーション パターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[番号計画 (Numbering Plan)]	番号計画を選択します。
[ルートフィルタ (Route Filter)]	<p>トランスフォーメーションパターンにワイルドカード @ が含まれている場合は、ルートフィルタを選択できます。オプションでルートフィルタを選択すると、所定の番号パターンが制限されます。</p> <p>表示されるルートフィルタは、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウンリストボックスで選択する番号計画によって異なります。</p> <p>Max List Box Items エンタープライズパラメータを使用して、このドロップダウンリストボックスで表示する項目数を設定することができます。Max List Box Items エンタープライズパラメータで指定した数よりも多くのルートフィルタが存在する場合、ドロップダウンリストボックスの横に [検索 (Find)] ボタンが表示されます。[検索 (Find)] ボタンをクリックして、[ルートフィルタの検索と一覧表示 (Find and List Route Filters)] ウィンドウを表示します。「ルートフィルタの設定値」(P.30-1) に従って、ルートフィルタ名を検索し、選択します。</p> <p>(注) リストボックスの最大項目を設定するには、[システム (System)] > [エンタープライズパラメータ (Enterprise Parameters)] の順に選択し、[CCMAdmin パラメータ (CCMAdmin Parameters)] を選択します。</p>
[緊急優先 (Urgent Priority)]	Cisco Unified Communications Manager は、[緊急優先 (Urgent Priority)] を指定してすべての着信側トランスフォーメーションパターンを設定します。パターンの優先順位は変更できません。
[着信側トランスフォーメーション (Called Party Transformations)]	
[番号の削除 (Discard Digits)]	この着信側トランスフォーメーションパターンに関連付ける数字破棄命令を選択します。表示される数字破棄命令は、[番号計画 (Numbering Plan)] ドロップダウンリストボックスで選択する番号計画によって異なります。
[着信側トランスフォーメーションマスク (Called Party Transform Mask)]	トランスフォーメーションマスク値を入力します。NANP の有効な入力値は、0 ~ 9 の数字、ワイルドカード文字 X、アスタリスク (*)、シャープ (#)、国際的なエスケープ文字 +、およびブランクです。このフィールドがブランクのときに、上記のフィールド ([番号の削除 (Discard Digits)]) がオフの場合、トランスフォーメーションは行われません。
[プレフィックス番号 (Prefix Digits)]	<p>[プレフィックス番号 (Prefix Digits、発信コール)] フィールドに、プレフィックス番号を入力します。NANP の有効な入力値は、0 ~ 9 の数字、ワイルドカード文字、アスタリスク (*)、シャープ (#)、国際的なエスケープ文字 +、およびブランクです。</p> <p>(注) 付加されたプレフィックス番号は、割り当てられたデバイスにルーティングされる電話番号に影響を与えません。</p>

表 48-1 着信側トランスフォーメーションパターンの設定値 (続き)

フィールド	説明
[着信側番号タイプ (Called Party Number Type)]	<p>着信側電話番号内の番号タイプの形式を選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、着信側電話番号 (DN) のタイプを設定します。ダイヤルプラン (たとえば、NANP やヨーロッパのダイヤルプラン) について十分な経験がある場合を除いて、デフォルト値を変更しないようにお勧めします。Cisco Unified Communications Manager は、ヨーロッパの国別ダイヤルパターンを認識しないので、ヨーロッパでは、デフォルト値の変更が必要になる場合があります。この設定は、着信側電話番号が国別以外の番号計画に符号化されることを期待する PBX への接続時にも変更できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Cisco Unified Communications Manager] : Cisco Unified Communications Manager が電話番号のタイプを設定する場合に使用します。 • [不明 (Unknown)] : ダイヤリングプランが不明の場合に使用します。 • [国内 (National)] : 使用国のダイヤリングプランの地域内でダイヤルする場合に使用します。 • [国際 (International)] : 使用国のダイヤリングプラン以外の地域でダイヤルする場合に使用します。 • [加入者 (Subscriber)] : 短縮登録者番号を使用して登録者にダイヤルしている場合に使用します。
[着信側番号計画 (Called Party Numbering Plan)]	<p>着信側電話番号の番号計画の形式を選択します。</p> <p>Cisco Unified Communications Manager は、着信側 DN の番号計画を設定します。ダイヤルプラン (たとえば、NANP やヨーロッパのダイヤルプラン) について十分な経験がある場合を除いて、デフォルト値を変更しないようにお勧めします。Cisco Unified Communications Manager は、ヨーロッパの国別ダイヤルパターンを認識しないので、ヨーロッパでは、デフォルト値の変更が必要になる場合があります。また、国別タイプ以外の番号として、ルーティングを使用して PBX に接続する場合も、この設定値を変更できます。</p> <p>次のいずれかのオプションを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Cisco Unified Communications Manager] : Cisco Unified Communications Manager が電話番号内の番号計画を設定する場合に使用します。 • [ISDN] : 使用国のダイヤリングプラン以外の地域でダイヤルする場合に使用します。 • [国内標準 (National Standard)] : 使用国のダイヤリングプランの地域内でダイヤルする場合に使用します。 • [非通知 (Private)] : プライベートネットワーク内でダイヤルする場合に使用します。 • [不明 (Unknown)] : ダイヤリングプランが不明の場合に使用します。

追加情報

「関連項目」(P.48-5) を参照してください。

関連項目

- 「着信側トランスフォーメーション パターンの設定」 (P.48-1)
- 「着信側トランスフォーメーション パターンの設定値」 (P.48-1)
- 「ルート フィルタの設定値」 (P.30-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「発信側番号トランスフォーメーション設定値」
- 『Cisco Unified Communications Manager システム ガイド』の「ルート パターンとハント パイロット内のワイルドカードと特殊文字」
- 「パーティションの設定」 (P.40-1)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「ローカル ルート グループ」

